

近畿支部会報2012年6月初夏号

金環日食や、金星の太陽面通過等、今年は珍しい宇宙の神秘が多く見られました。テレビの映像とそんなに違わないけれど、やはり空を見上げ、実際に見るのは、すごく感動があり、今年は幸運な年ですね。



サーバス近畿支部では、今年度休会会員の年会費を改めました。全く連絡が不要な人は年会費0円、ホスト会員と同様に諸連絡を行い、可能であれば出来るだけサーバスの例会等に参加して頂く方は1500円です。今、支部には9人の休会者がいられますが、1500円の年会費がよく送られてきます。それ所か、サーバスユースの国際会議に行かれるIさんを励まそうと、カンパまで送って下さる休会者がいらっしやいます。本当に嬉しく、会員が力を合わせて、休会者の皆様にも少し



でも良い思いを持って頂けるような活動をしていきたいと思ひます。

もう一つお伝えしたい事はIさんへのカンパです。今、カンパは4万5千円集まっています。カンパが送られてくる度に、皆様の応援の心が伝わって来て、温かい気持ち心一杯に広がります。

そんな感動が、私の活動のエネルギーとなっている今日この頃です。皆様、有難うございます。

今回の会報は次の内容でお届けします。

- | |
|---|
| 1、例会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・支部長 |
| 2、トラベル報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・「国内旅行の勧め」 京都市 H.T |
| 3、トラベラー受け入れ報告・・・・・・・・・・「韓国二家族ディホスト」堺市 S.H |
| 4、お願いとお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・支部長 |

1、例会報告

支部長

日時：2012年6月3日(日) 場所：サーバス会員 S.Y様宅
出席者：支部役員3名 滋賀県会員4名 会員家族1名 講師1名 会員の友達4名
計13名

今回は1品持ち寄りの例会で、11時に石山駅に集合でした。駅には、顔なじみの人、お久しぶりの人、いろんな会員がいる中で、初めての参加者も少なからずいられます。講

師でフィリピン人の C.J さんをはじめとして、ベトナムからの C さん、ネパールからの So さん、お着物が素敵な O さん等多彩な顔ぶれです。英語の会話が飛び交って国際色豊か、さすがサーバスです。S さん宅には W さんと S さんが車で連れて行って下さいました。道すがら、南郷の洗い堰や石山寺の案内等、早速観光の始まりです。「S パン・ツェルマッ



トによって、ナンを持って来なくては」S さんは何とよく気がつかれる事でしょう。So さんがネパールカレーを持って来られるので、ナンを用意されたのです。程なく S 邸に着きました。早速各自お持たせ料理の盛り付けです。テーブルに並んだ御馳走の数々、どんなレストランにも負けません。ワイワイがやがや、美味しい食事を楽しみました。さて、食後は、一転真面目に例会討議をした後、講演です。

講師の C.J さんはフィリピンの大学で哲学を学ばれましたが、今は、墨絵画家で、例会の前には、フィリピンで個展をされていました。日本についての印象を多方面から話して下さい、講演後の質疑も交えて、皆で有意義な時を過ごしました。その後、K さん H さん二人による国内トラベル旅行の報告があり、最後はデザート、入れたてのコーヒーにリンゴゼリーや果物、それに珍しいベトナムのぜんざいと最後まで楽しい例会でした。近くを散歩する時間はなくなりましたが、皆大満足して散会となりました。



討議及び報告事項

①例会について

- ・秋の例会は兵庫の予定、T さんと M さんで会場を探す。
- ・S パンでのピザのクッキング料理教室は来年に行う。
- ・機会を見つけて、舞鶴の休会会員 Sa さんを尋ねる。

②国際サーバスユース会議に出席される I さんへの支部会計からの補助金額は 5 万円とする。

講演 「外国人から見た日本」

講師 C.J.S

こんにちは！C.J.S と申します。中国系ですが、 マニラというフィリピンの都市に生まれました。生まれてからフィリピンに住んでいましたが、子供の頃、ほぼ毎年アメリカに住んでいる兄弟に会いに行きました。結婚してから、私の主人は日本の文部科学省から奨学金を頂き、京都にある大学院の博士課程に入学し、日本の哲学を勉強する事になりました。私にとって、日本で生活する初体験の機会になりました。主人は 4 年間くらい博士課程にいる予定ですので、私も 4 年間ほど日本をよく体験できる期間が与えられました。

日本で様々な事が印象的ですが、非常に強く印象を受けたのは二つあります。一つは日本の安全性と秩序です。もう一つは、日本は高いレベルまで近代化していますが、同時に伝統が守られている事です。

私はフィリピンで強盗されるのをいつも心配していました。道歩きは危険ですから、車がなければどこへも行けません。それで日本の安全性と秩序を味わって、別の生き方を見せられました。すごく安全と感じているから、自由に町に出て、日本を探検し、楽しむ事ができるという気がしました。日本の安全性と秩序の一例をあげれば、公共交通機関です。フィリピンでバスや電車などを使うのは下層の人々だけです。原因はたくさんありますが、フィリピンの公共交通機関がすごく安いと言っても、三十分の電車乗りは20円ぐらいかかります。でも、あまり維持されていなくて、駅も少なく、使うのは不快で全く便利ではありません。そして一番重要なのは、使っているお客さん、特に女性は、何か悪い目に合うのが心配です。例えば、財布がスリされるか、或いはセクハラされるか、非常に不安です。他方、日本の交通機関はよく建築されてよく維持されているようです。それと、ネットワークは広くて、駅も多いから便利です。そして、社会のあらゆる階層の人々がバスや電車などを使っているようです。例えばパーティーや仕事に行く時、バスや地下鉄などが使えます。フィリピンでは私のような人は、どこかに行くために、両親から空いている車を借りなければなりません。15分間で歩ける距離でも、安全上車を利用しなければなりません。それに対して、日本に来てから私の選択肢は多様になりました。電車で行くかバスで行くか、それとも、自転車に乗っていくか、或いは歩いていくか、全部が自分の安全を心配せず利用できる方法です。非常に解放されているという感じです。正直に言えば、私はフィリピンの近所より日本の近所の方が探検できました。

更に日本にいる人はフィリピンにいる人より法律に従っており、秩序を守っていますから、信用しやすくなります。社会のあらゆる階層の人々とも接触する機会が多いし、少なくとも交通機関をともに利用します。それに対して、フィリピンでは私の接触できる人々はショッピングモールに行ける階層に限られています。それ故、フィリピンより日本で周りの人々に関心を持つようになって、いわゆる共同性を強く感じて、他人の事でも何か力になりたい（少なくとも邪魔したくない）という感覚が起きました。

それで、老後の事を考えますと、わたしも日本に住みたくなります。日本の年寄りにはフィリピンよりはるかに活躍していると思います。日本の年寄りは自転車に乗ったり、新しい事に熱心で、勉強したり、新しい場所へ旅行に行ったりしています。社会事業にも力を入れているようです。サーバスにはこのような方がいられると思います。そして、京都国際交流会館のボランティアの中には、こういう年上の方がよく活躍していられます。私にとって、これは非常に良い事です。他の国と比べて、日本では年を取っても、生活の質を落としません。さらに、年寄りとはよく接触できますから、若者は人生の先輩から学ぶ機会が増えると思います。高齢から或いは病気から体が不自由になっても、日本は比較的住みやすい国だと思います。日本のバスは不自由なお客さんに対応できます。バスダイヤにも

不自由な方が乗れるバスはいつ来るのかはっきり書いてあります。たくさん歩行者専用道路は信号があるだけではなく、音もします。視覚障害者も渡れるようになるためだと思います。そんな事はフィリピンにはまったくありません。公共設備と秩序の良い状態を見ますと、やはり日本は住みやすい国として優れていると言えます。

でも、規則と言えば、理由は全く分からず、ただ「決まりだから」と思って行動するような人とたまに会います。例えば、主人と一緒に天竜寺に行ったのですが、天竜寺の本殿に入る前に、靴を棚に置くか、或いはポリ袋の中に靴を入れて持っていくかという説明がありました。主人は靴を棚に置きたかったけれど、靴が泥で汚れていたのも、棚を汚さないようにポリ袋に入れて、棚に置きました。すると、警備員さんに、「靴をポリ袋に入れたから、中に持っていかなければなりません」と言われました。説明しようとしたのですが、仕方なくその決まりに従わなければなりませんでした。

もう一つ印象的な事は、近代性と伝統のミックスです。日本は技術的に最先端的ながら、伝統の受け継ぎが大事にされているようです。近代性の一例をあげれば、最近、日本は代替エネルギーのイノベーションで世界の指導者になりました。私は電気自動車と太陽エネルギーの家庭の広告を見てびっくりしました。こんな事は未来の事だと思いましたが、日本ではもう現実です。皆様にとって非常に当たり前な事かも知れませんが、私には日本のテレビの高い技術と便利さが有難いことです。どこでも娯楽番組はあるけれど、フィリピンに比べると、日本には教育番組は多いです。そのような番組を定期的に見ますと、誰でも外国語まで学べます。素晴らしいじゃないですか。そのような番組を主人と一緒に楽しんでみえています。私がもし高校生なら、高校生向けの復習番組があるのは有難いことです。そして、外国人として、英語の映画が放送される時に、英語で聴く選択肢がある事を感謝しています。これを発見した時は大喜びでした。私にとっては、テレビの使い方にも発見が多いです。フィリピンにいと、その選択肢、いやその技術さえありません。このように見ますと、日本は本当に先進科学技術の国です。

しかし、同時に昔からのものが受け継がれるのがいい事だと思います。例えば、京都のお寺は観光名所ですが、多くはまだお寺として機能しています。道も昔からの名前と呼ばれ続けています。だから、京都の歴史について聞くと、「あっ、この昔の事はここで行われていた」と解って、歴史と現在ここに住んでいる人のつながりが強く感じられます。例えば、伊藤若冲の家族が長い間錦の辺で八百屋を営業したと聞いて、それがどこであるかすぐ分かりました。

古いと思う人がいるかもしれませんが、日本では引っ越したばかりの人がお隣さんを訪ねてプレゼントする習慣があります。そのような習慣は、隣人との関係を実現するための重要なきっかけだと考えられます。私たち夫婦もその習慣を通じて、隣人と知り合っただんだん友達にもなれるかなと思っています。

又、画家や職人が伝統的な芸術を維持すべきというような責任感を持っているのは、私も画家としてすごく感動することです。たとえ斬新なものを創造しても、伝統に反対せず、

伝統の自然なながれに繋がるように伝統が受け継がれるようです。独創性と唯一性が一番重視されている文化の中で育てられた私にとって、そのような伝統の尊敬を目にしますと、何かホッとします。例えば、ある時、日本人の禅画家と墨絵について話しました。先生は私が墨絵を書く時、私は一人ではなく、私の背中に歴史上の数多い画家が私を支えるように存在していると言ってくれました。歴史上にいる画家は同じ墨で絵を書いたと言いました。だから、まず歴史上にいた達人の工夫を学んで、それからどうやって達人のやり方と私なりのやり方を盛り込むかを考えています。

ところで、たくさんの美術館と博物館があるのはいい事ですね。設備がよく維持されているだけではなくて、お客さんも大勢来るのは非常にうれしいことです。フィリピンではいい美術館と博物館はいくつかありますが、お客さんはあまり見に来なくて、何か寂しい状態です。芸術に関してですが、芸術は美術館に限らず、レベルの高い芸術がどこでも見られます。日本人には芸術は重要な存在とみなされているようです。そして、芸術材料専用の店もたくさんあります。そのような事はフィリピンにはありません。

ただし、日本では伝統とともに形式へのこだわりもあります。私は日本語を勉強した時、様々な敬語を学びました。今でも混乱している事は、例えば上司からくだけた日本語で話しかけられると、私はその話し方を真似しがちですが、逆にずっと敬語で答えなければなりませんから、それを忘れると失礼してしまいますね。私にとって、このようなヒエラルヒーはすごく分かりにくいです。だから誰かを怒らせたのかなと心配するのはよくある事です。そして、敬語を使うと、私はかえって曖昧になる恐れがあり、私の言いたい事が通じないかなと心配しています。このような距離をとる形式は良い点もあると思います。敬語を通じて相手に尊敬と気遣いを表し、人間関係の秩序も保たれます。でも、距離と形式があるからこそ、相互理解が邪魔されるのではないかと時々思っています。何か、相手との間の壁みたいで。本音を伝えたくても、建前に隠蔽されるかもしれません。

そして、もう一つの不安があります。日本社会における女性の役割です。例えば会社で高いポジションを占めている女性は比較的少ないと言われていています。そして、テレビを見て、政治にも女性の姿がほとんど見えなくて、不安です。フィリピンの会社では、社長にまでなった女性は珍しくありません。政治にも、日本は女性は少ないですが、フィリピンでは女性の大統領も二人いました。その理由は私には分かりませんので、今ここにいらっしゃる女性の方から説明して頂ければありがたいです。理由はもともとそういう仕事は女性にとって望ましくないからですか。それとも、女性にとって望ましい仕事でも、社会から良妻賢母になるプレッシャーを感じてそのような夢を諦めるのですか。そして、本当かどうか分かりませんが、日本の男性は家事をあまりしないと聞きました。家族と一緒に過ごせる時間も比較的少ないという記事をどこかで読みました。フィリピンと比べて、日本の残業は厳しいようです。それで日本では一般的にお母さんが子育てに力を入れるようで、お父さんは子育てにあまり関わらないという印象があります。外国人にはこういう現象は理解できず、どんな理由があるのかと思っています。もちろん、社会がスムーズに動いた

めにこういう役割の決まりは重要なかもしれませんが。でも、現在の問題に対応できるように、ある程度の柔軟性も必要なのではないでしょうか。

私の日本での冒険はまだ3年間残っています。日本についてまったく分からないことが数えられないくらいあります。だからこそ、その3年間をうまく利用して、日本文化と私自身の事もよく学びたいと思っています。そして、文化が深く伝統的でありながら国際的である日本において、外国人の私がどうすれば日本に貢献できるのか、又、私はここでどんな役割を果たせるのか、探求し続けたいと思います。

今日は私の話を気長く聞いてくださり、有り難うございました。ご質問、ご意見があれば、どうぞよろしく願いいたします。

講演後、以下の様なことについて話し合いました。

- ・日本社会や家庭における男女のあり方や役割、子育て等について。
- ・フィリピンで子供が家族のために働いていることについて。
- ・アジアの国の経済的な面から見た未来について。

参加者の感想

- ・日本の事をよく理解されているのに感心しました。とても知的で素敵な方だと思います。
- ・日本、日本人について色々深く思い、感想を聞かせて頂き、外国人から見た日本、日本人について、とても良い勉強になりました。
- ・良い講演でした。有難うございます。日本の伝統と日本女性をよく知って、京都の良い所も悪い所も理解して下さい。
- ・とても良くまとめられていて、感心しました。良い講演をありがとうございました。
- ・講演後の話は面白かったです。皆様の意見を聞くと、日本とフィリピンはどちらも長所と弱点を持っている事がわかりました。(講演者)
- ・楽しい時間をありがとうございました。到着の時間が正確にならなかったこと、お詫びします。でも、無事に終え、ほっとしています。C,Jさんのスピーチも良かったです。
- ・美味しく楽しくて、その中に国際理解を深める豊かな内容の素晴らしい支部例会でした。Hさん、Mさん、Tさん、お世話様でした。Sさん、会場提供ありがとうございました。

2、トラベル報告

「国内旅行の勧めー諏訪・弥彦へー」

京都市 H.T

サーバス会員を尋ねての国内旅行、それは国内旅行の楽しさと共に、国内旅行を通じて、各地の会員がよく知りあう機会になります。私はサーバス旅行の中で、韓国でのサーバス

旅行がとても好きです。理由はサーバス会員同士のネットワークがとても良い事です。私が旅したい所を韓国のコーディネーターに告げれば、ホスト探しから援助して下さり、又、旅行中も、次に訪れるサーバスホストに連絡を取って下さったり、とても快適な旅が楽しめます。ホームステイの組織は他にもありますが、こういう点はサーバスならではの事だと思いますし、私も日本の会員同士のネットワークをよくして、外国からトラベラーを受け入れる際に、便利で喜ばれるサービスを提供したいと思っています。その為に、サーバス国内旅行はとても良い機会だと思います。

今回は諏訪にお住まいの K 様と弥彦にお住まいの T 様を、4月4日～9日の日程でお尋ねしました。K 様宅は2度目の訪問です。最初の時に諏訪湖の花火や諏訪神社等有名な事を楽しんだので、今回は余裕のある名所巡りです。世界1のオールヌーボーのコレクションを誇る北澤美術館で、「えっ、ガレはこんな作品も作っていたの？」と思う珍しい作品に出会ったり、間欠泉センターでは、温泉が噴き出すの



を眺めたり、足湯や温泉卵とゆったり時を過ごしました。諏訪には多くの作り酒屋があり、記念公開中の真澄では、美味しい聞き酒に酔いしれました。その他、高島城、地藏寺等の市内見物を楽しみました。少し南の伊那市に、寒天の様々な食品を製造している会社が行っている「カンテンパパガーデン」を尋ねました。豊かな自然の中で、寒天料理や併設されている美術館を訪れるという物です。美味しい料理に舌鼓を打ったり、木工、細密画、写真等、各館毎に違う芸術を楽しみました。帰りに岡谷蚕糸博物館、美術館により、野麦峠の話の思い出しながら、繭から生糸を作る作業を体験したり、地元芸術家の作品を鑑賞しました。もちろん、K さん宅の近くの神社での朝のラジオ体操等、今頃都会では忘れられている古き良き時代の日本を体験した事は言うまでもありません。



次に訪れた弥彦、弥彦は無人駅なので小さな駅を想像していたのですが、弥彦神社の入り口にふさわしく、朱塗りの立派な駅にびっくりでした。弥彦にはスカイツリーと同じ高さ 634m の弥彦山がそびえていて、弥彦の人はそれを見ると故郷を感じ、心が安らぐそうです。朝は T さんの家の近くを K 君の案内で散歩して、

懐かしい村の雰囲気を楽しみました。T さん宅の近くに古い学校がふるさと学校として保存されており、各部屋には昔の生活道具が展示され、当時の生活が再現されています。又、旧武石家住宅も名所として保存されていて、そんな人が訪れないのに、囲炉裏には薪がたかかっているのには感銘でした。弥彦には駅前に弥彦公園と弥彦神社があります。それが人々の生活の寄り所の1つになっているようで、そこで結婚式や入学祭をされています。

弥彦の温泉も有名で、弥彦神社の近くに、幾つもの鳥居をくぐり抜けると湯神社があります。又、江戸時代の名僧・良寛さんゆかりの国上山には、国上寺と良寛さんが晩年を過ごされた五合庵があります。五合庵は山中にひっそりと建っていて、近くには子供たちと毬で遊ぶ柔和で慈悲深い良寛像があり、本当に心が和みました。近くの燕市に行きました。ここは洋食器や銅器で有名です。燕市産業資料館で、数々の洋食器を見たり、スプーン作りを体験しました。極めつけは日本海に面した寺泊の温泉と延々と続く魚市場です。年末には東京からの買い物客でごった返すそうです。観光を終えての温泉と鮮魚料理は格別でした。弥彦旅行で1番印象に残ったのは、毎年信濃川が氾濫をおこすのを防ごうと、すごい年月と人手をかけて作られた大河津分水嶺の洗い堰です。この努力がなければ今の信濃平野、米所の新潟はありませんでした。何とかしなければならぬという執念と努力、人知には計り知れないものがあると、つくづく感じ入りました。

K様、T様、色々本当に有難うございました。次はぜひぜひ京都にお越し下さい。

3、トラベラー受け入れ報告

「韓国二家族デイホスト」

大阪府堺市 S.H

韓国は大邱（テグ）からの、K.Yさんご一家とその友人ご一家、大人4名&子供5名の計9名の大阪デイホストを6/3(日)に担当しました。お子さん達がこちらの息子（やや体調不良のため妻と自宅に居ましたが）と同年代ということもあり、互いに親近感を持って接することができました。



当日はまず、梅田のホテルで待ち合わせ、来訪箇所の相談をしました。その結果、子供の興味を引き

そうな大阪市立科学館に最初に行きました。力学の体験型遊具や化学の実験に触れて、子供たちは喜んだり驚いたりしていました。また、大人の方達にも“教育的意義が有り、良かった”と満足して頂けたようです。子供たちがあまりにも熱心に遊ぶので、ここだけで1時間半近く過ごしました。次に、大阪ビジネスパークで昼食を摂った後、大阪城に登り



ました。現在はエレベータが設置されているので、ある程度、移動が楽にはなりましたが、それでも子供たちの何人かが“あ～疲れた～”状態になりつつありました。よって、天守閣最上層には大人と元気な子供だけで登ってもらい、当方と残った子供たちは5階の展示スペースで折り紙で遊んでいました。続いて、奥様方の達への希望であるショッピングのために心齋橋に向かいました。

大丸を通った後、特に行きたいとの希望があった、サンリオショップ（ハローキティのグッズがお目当て）を訪れました。当方も初めて行ったのですが、半分は外国人観光客というくらい海外の方が多く、改めて日本のアニメやキャラクターの人気の強さを感じました。奥様方のお買い物は1時間半にものぼり、だんな様方は荷物持ち、子供たちと当方は店内でかくれんぼなどしていました。その後、最年長のお子さん、K君（12歳）がマジックに興味があるとのことなので（昼食時にバイシクル社のトランプを用いたカードマジックを見せてもらいましたが、鮮やかな手つきに脱帽ものでした）、近くの東急ハンズに立ち寄り、マジックグッズの買い込みのお手伝いをしました。最後に、梅田に帰り、夕食のラーメンをみんなで食した後、HEP FIVEの観覧車に行こうかと相談しました。が、21時近くになっていたこともあり、観覧車は断念してホテルに向かい、そこでお別れとなりました。たくさん歩き回り、また子供たちと全力で遊んだこともあり、翌日・翌々日に疲れが残りましたが、楽しい思い出となりました。（ホストコーディネーターのSさんは、デイホストが見つからないので、三日の例会を休んで韓国の方を案内して下さいました。）

4、お知らせをお願い

支部長

- *サーバスユース国際会議に参加されるIさんに、カンパをお寄せ下さりありがとうございます。今、4万5千円集まっています。5万円の目標まであと一歩です。どうぞよろしくをお願いします。締め切り6月30日
郵便振替払い込み 口座番号 00990-6-33645 加入者名 日本サーバス近畿支部
- *近畿支部から、ポーランドで持たれるサーバスユース国際会議8月5～11日にI,T,Hが、サーバス国際会議8月18日～25日にTo夫妻、T、Hが参加します。その間、ホストリストの貸し出しが出来なくなります。旅行を計画され、ホストリストが必要な方は7月中に請求して下さい。又、Hが不在の時にLOIが必要になった方は、Mさんにお問い合わせ下さい。
- *秋の例会は兵庫県で諸会議の報告を中心に行ないます。又、お楽しみ例会として、堺市を訪れます。日時は決まっていますが、よろしくご承知下さい。